

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2005-203750(P2005-203750A)
 【公開日】平成17年7月28日(2005.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報2005-029
 【出願番号】特願2004-348081(P2004-348081)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 41/09 (2006.01)
H 0 2 N 2/00 (2006.01)
H 0 1 L 41/187 (2006.01)
H 0 1 L 41/18 (2006.01)
H 0 1 L 41/22 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 41/08 C
 H 0 2 N 2/00 B
 H 0 1 L 41/08 M
 H 0 1 L 41/18 1 0 1 D
 H 0 1 L 41/18 1 0 1 Z
 H 0 1 L 41/08 K
 H 0 1 L 41/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1電極、第2電極および前記第1電極と前記第2電極との間に挟まれ、膜厚方向に分極ベクトルを持ち、前記第1電極と前記第2電極とを介して所定値以上の電圧が加えられると前記分極ベクトルが反転させられる圧電体薄膜からなる圧電体薄膜素子と、前記分極ベクトルを反転させる電圧を供給する電源回路とを備え、前記圧電体薄膜は、前記分極ベクトルの方向により異なる格子定数を有し、前記圧電体薄膜素子は前記電圧が印加されなくなった状態でも前記分極ベクトルの方向に対応した異なった変位位置を保持することを特徴とする圧電体薄膜装置。

【請求項2】

前記圧電体薄膜素子が、異なった前記変位位置のいずれかを中心に、分極ベクトルが反転しない範囲の電圧で駆動されることを特徴とする請求項1に記載の圧電体薄膜装置。